

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	令和7年度 さかえ区民活動センター運営事業	
事業の実施者	団体等	横浜市福祉サービス協会・さかえ区民活動支援協会グループ
	行政	横浜市
事業の目的	市民公益活動、生涯学習活動及びボランティア活動の支援を通して、市民の参画をもとに、区民力の向上により豊かな地域づくりを図ることを目的として、さかえ区民活動センター事業を行う。	
事業の内容	(1) 開業準備 (2) センターの運営に関する事 (3) センター事業に関する事 (4) 事業改善に関する事 (5) 施設管理に関する事	
役割及び責任分担等	協働契約書のとおり	
実施期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日	

記入日	令和8年4月1日
記入者	[団体等] ・団体等名： 横浜市福祉サービス協会・さかえ区民活動支援協会グループ ・記入責任者 氏名： 高橋 順一 連絡先： 045-392-5157
	[行政] ・部署名： 栄区役所地域振興課 ・記入責任者 氏名： 吉田 登 連絡先： 045-894-8393

2 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 <ul style="list-style-type: none">・受託者が日々の現場運営で把握している利用者の声や実状を基に意見を提示し、委託者は市の施策やこれまでの取組との整合性を意識しながら方向性を整理するなど、役割を活かした協議が行われた。・委託者と受託者が連携し、日頃から地域情報の収集とネットワークづくりに努め、関係団体や施設への円滑な情報提供と幅広い活動支援につながられていることを確認した。
【今後改善が必要と思われること】 <ul style="list-style-type: none">・第5期栄区地域福祉保健計画（さかえ・つながるプラン）等により、最新の地域課題を再確認し、地域ニーズをとらえた事業計画を作成する必要がある。・地域ニーズや事業成果の測り方について、より早い段階から具体的に整理しておく必要がある。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 <ul style="list-style-type: none">・「ブラッシュアップライフ講座」や「区民利用施設スタンプラリー」、「人財バンク講師茶話会」などの事業を実施する中で、委託者の発信力やネットワーク力、受託者の柔軟な企画・現場対応力等のそれぞれの強みを生かしながら取り組むことで、参加者の満足度向上や新たな人のつながりの創出につなげることができた。
【今後改善が必要と思われること】 <ul style="list-style-type: none">・区民活動センターの存在を幅広く地域に周知するため、委託者・受託者が相互に連携して、事業の実施や広報活動に取り組んでいく必要がある。・人財バンクの情報を掲載しているウェブページのリニューアル作業を進めているが、実効性を高めるため、どのように活用していくかを検討する必要がある。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
<ul style="list-style-type: none">・事業終了後には、参加者の満足度を確認するとともに、これまでの取組について、委託者と受託者の考え方にずれがなかったかを話し合った。・当初期待された事業効果がどの程度得られたのかを振り返り、次の事業につなげるために、どのような点を改善すべきかについて共通の理解を持つことができた。・ボランティア団体等の地域の担い手の高齢化や、役割分担の明確化、区民活動センターの認知度向上など、引き続き取り組むべき課題についても共有した。・区民利用施設交流会や区社会福祉協議会との情報交換会などを通じて、関係機関相互の連携が進んでおり、区民活動センターは、中間支援組織として、協働して区内の課題に取り組む体制が構築されつつある。